

2019年7月25日

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

台湾・永安（ヨンアン）LNG受入基地拡張計画における基本設計業務の受注について

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（代表取締役社長：比護 隆、東京ガス株式会社100%出資子会社、以下「TGES」）は、台湾最大手の石油・ガス会社である台湾 CPC Corporation（会長：歐嘉瑞（Dr. Jerry J. R. Ou）、以下「CPC社」）から、永安 LNG 受入基地拡張計画における基本設計業務（以下「FEED 業務」）を受注し、2019 年中に FEED 業務を実施します。

台湾では、環境保全の観点から天然ガス火力発電の割合を 50%まで引き上げる方針であることから、今後も天然ガス需要の堅調な増加が見込まれています。このような背景から CPC 社は永安 LNG 受入基地の拡張を計画しています。

永安 LNG 受入基地は台湾で初めての LNG 受入基地として 1990 年に稼働し、過去 2 度の拡張工事を経て、現在台湾最大の LNG 受入基地となっています。

TGES は、その前身である東京ガスエンジニアリング株式会社が 1979 年に CPC 社の LNG 導入計画を支援して以来、永安 LNG 受入基地建設時の LNG 地下タンクの技術コンサルタント業務も受注するなど、CPC 社と過去 40 年にわたって良好な関係を築いてきました。

今回の FEED 業務受注は、両社の良好な関係を背景に、国内外の LNG 受入基地建設における数多くの基本設計業務や LNG タンクエキスパートとしての業務、および LNG 受入基地の運用実績に裏付けられた、基本設計から基地運用までを 1 社で担える TGES のエンジニアリング力（※）が高く評価された結果であると考えております。

※ 日本国内における東京ガスの 4 基地をはじめ、タイ、韓国、フィリピン、台湾、インドネシア、UAE、インド、バングラデシュ、ミャンマー、ベトナム、中国、スペイン、ポルトガルなど多数の LNG 受入基地エンジニアリングに関わった実績

TGES は、東京ガスグループ 2018-20 年度経営計画『GPS2020』で掲げている「海外市場における天然ガスを中心とした環境に優しいエネルギー供給」の実現に向けて、今後も LNG 受入基地に関わるエンジニアリングからオンサイト ES 事業まで、国内で培ったユーザーズノウハウに基づくエンジニアリングソリューション事業を積極的に展開してまいります。

<FEED 業務の概要>

受 注 先：CPC Corporation, Taiwan

契 約 期 間：2019 年末まで

主な業務内容：永安 LNG 受入基地の拡張計画において、2019 年内に基本設計業務を実施・完了する。

(参考資料)

地図「永安 LNG 受入基地」所在地



<本件に関するお問合せ先>

東京ガスエンジニアリングソリューションズ (株)

経営企画部 島川・佐藤 電話：03-6452-8407